

# 第35回山形県クラブ卓球選手権大会

## 兼 第35回全日本クラブ卓球選手権大会予選会 開催要項

- 1 名称 第35回山形県クラブ卓球選手権大会兼全日本予選会
- 2 期 日 平成28年5月8日(日) 午前10時開会 開館 午前8時30分
- 3 会 場 川西町民総合体育館  
川西町中小松2240-1 電話 0238-46-2277
- 4 主 催 山形県卓球協会
- 5 主 管 置賜地区卓球協会
- 6 協 賛 日本卓球株式会社
- 7 競技種目 男子団体戦 ①一般1部 女子団体戦 ①一般1部  
②一般2部 ②一般2部  
③50歳代の部 ③50歳代の部  
④60歳代の部 ④60歳代の部  
⑤小・中学生の部 ⑤小・中学生の部
- 8 全国大会出場数 ①②③④⑤は各1チーム。
- 9 競技方法 トーナメント又はリーグ戦方式による。
- 10 試合方法 ①一般1部と一般2部：監督1名、コーチ1名、選手4～6名を登録することができる。登録選手による4シングルス、1ダブルスを編成し、3番にダブルスをおき3点先取法により決定する。ただし、1、2番の選手で3番のダブルスを組むことはできない。(但し監督のみでコーチがいないチーム編成も認める)  
②50歳代の部：50歳以上で登録する。昭和42年4月1日以前出生で構成された単独チーム。監督1名、コーチ1名、選手4～6名を登録することができる。他は、①に同じ。  
③60歳代の部：60歳以上で登録する。昭和32年4月1日以前出生で構成された単独チーム。監督1名、コーチ1名、選手4～6名を登録することができる。他は、①に同じ。  
④小・中学生の部：中学生以下の選手を登録する。監督1名、コーチ1名、選手4～6名を登録することができる。他は①に同じ。  
  
出場順1. 中学生以下A 2. 小学生A 3. 小中学生or小学生同士  
4. 小学生B 5. 中学生以下  
※小学生の選手が中学生の選手のところに出場することは認める。  
※シングルスとダブルスの2試合に出場できるが、シングルスのみ2試合出場することはできない。
- 11 競技ルール ①現行の日本卓球協会ルールによる。  
②全試合、11本5ゲームで行う。  
③使用球は、JTTA公認プラスチック球40mmホワイト(ニッタク)球を準備する。

- ④ユニホームは、2種類以上持参すること。
- ⑤ゼッケンは平成28年度（公財）日本卓球協会指定のものを使用すること。

- 12 参加資格
- ①平成28年度山形県卓球協会に登録済み者で構成するチームであること。監督・コーチは役員登録を行い、大会時は必ず役員章を腕に付けること。ただし、日学連、高体連に加盟している者は出場できない。中学生以下はこの限りでない。
  - ②三共レディース2016全国大会代表チームのメンバーは参加できない。  
(ただし予選会を除く)
  - ③一般1部、一般2部は、第66回（平成28年度）全日本実業団選手権大会出場者(参加登録者を含む)は出場できない。
  - ④一般2部 過去3年間全国大会 a：全日本卓球選手権(一般・ジュニア)、b：全日本卓球選手権(団体)、c：国民体育大会、d：全日本社会人卓球選手権、e：全国高校卓球選手権(シングルス・ダブルス)、f：全日本大学総合卓球選手権(個人の部)に出場したことの無い人で構成されたチーム、及び全日本実業団(予選会を除く)に参加したことの無い企業チーム。(a～fの上記全国大会に出場していても40歳以上のものは可)
  - ⑤男女各部は、同一チームから複数のチームが出場できる。但し、本大会のメンバーと全日本大会のメンバーは同一とする。
  - ⑥登録加盟団体以外(隣接都道府県)のチームから参加する場合は、当該年度を含め2年間は当該チーム以外から出場できない。
    - ア 隣接都道府県であること
    - イ 同一クラブ名で登録していること(ゼッケンの所属欄が同一であること)  
(出場の場合には1年間あけること)
    - ウ 当該(登録地および出場地)加盟団体長から承認されていること
  - ⑦参加資格に違反した場合は失格。大会後に発覚した場合、成績(ランキング)を剥奪し、当該チームは翌年度の本大会に出場できない。
  - ⑧外国人選手は、1試合1チーム1名1ポイントに限り出場することができる。

13 参加数 各支部自由

14 参加料 1チーム7,000円 ただし、小・中学生の部は、1チーム4,000円とする。

15 申し込み 別紙参加申込書に必要事項を明記し、各地区協会会長捺印の上、下記あて申し込みこと。参加料は、銀行振り込みとする。

〒992-0334 東置賜郡高島町大字一本柳1388-2

置賜地区卓球協会事務局 五十嵐 惇一 あて

振込先 ゆうちょ銀行 口座記号番号 02230-9-109904

加入者名 置賜地区卓球協会大会事務局

※振込取扱票にはご依頼人の欄に団体名も記入してください。

16 申込締切 平成28年4月20日(水)必着のこと。 組合せ4月23日頃予定

17 その他 第35回全日本クラブ卓球選手権大会

いつ 平成28年7月15日(金)～7月18日(月・祝)

どこで 大阪府大阪市 「エディオンアリーナ大阪」

「大阪市立浪速スポーツセンター」

## 第 35 回全日本クラブ卓球選手権大会 実施要項

- (1) 名 称 第 35 回全日本クラブ卓球選手権大会  
(2) 期 日 平成 28 年 7 月 15 日 (金) ～18 日 (月・祝)  
(3) 会 場 エディオンアリーナ大阪 (大阪府立体育会館)  
〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中 3-4-36 TEL : 06-6631-0121 FAX : 06-6643-0339  
大阪市立浪速スポーツセンター  
〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中 3-8-8 TEL : 06-6643-6444 FAX : 06-6643-6445  
JR、地下鉄、南海、近鉄、阪神「難波」駅より徒歩 10 分

- (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会  
(5) 主 管 大阪卓球協会  
(6) 後 援 大阪府、大阪府教育委員会、大阪市、(公財)大阪体育協会  
(7) 競技種目 (団体戦) (イ) 男子：一般の部 1 部 (ロ) 女子：一般の部 1 部  
(ハ) 男子：一般の部 2 部 (ニ) 女子：一般の部 2 部  
(ホ) 男子：50 代の部 (ヘ) 女子：50 代の部  
(ト) 男子：60 代の部 (チ) 女子：60 代の部  
(リ) 男子：小・中学生の部 (ヌ) 女子：小・中学生の部

- (8) 試合方法 競技は、第 1 ステージはリーグ戦、第 2 ステージはトーナメントで行う。
- 一般の部 : 監督 1 名、コーチ 1 名、選手 4～6 名を登録する (但し、監督のみでコーチがいないチーム編成も認める)。登録選手による 4 シングルス、1 ダブルスを編成し、3 番にダブルスをおき 3 点先取法により勝敗を決定する。但し、1、2 番の選手で 3 番のダブルスを組むことはできない。
- 50 代の部 : 選手は 50 才以上で登録する。監督 1 名、コーチ 1 名、選手 4～6 名を登録する (但し、監督のみでコーチがいないチーム編成も認める)。登録選手による 4 シングルス、1 ダブルスを編成し、3 番にダブルスをおき 3 点先取法により勝敗を決定する。但し、1・2 番の選手で 3 番のダブルスを組むことはできない。
- 60 代の部 : 選手は 60 才以上で登録する。監督 1 名、コーチ 1 名、選手 4～6 名を登録する (但し、監督のみでコーチがいないチーム編成も認める)。登録選手による 4 シングルス、1 ダブルスを編成し、3 番にダブルスをおき 3 点先取法により勝敗を決定する。但し、1・2 番の選手で 3 番のダブルスを組むことはできない。
- 小・中学生の部 : 監督 1 名、コーチ 1 名、選手 4～6 名 (中学生以下) を登録する (但し、監督のみでコーチがいないチーム編成も認める)。登録選手による 4 シングルス 1 ダブルスで編成し、3 番にダブルスをおき 3 点先取法により勝敗を決定する。但し、1・2 番の選手で 3 番のダブルスを組むことはできない。

|       |     |                |     |       |
|-------|-----|----------------|-----|-------|
| 1     | 2   | 3              | 4   | 5     |
| 中学生以下 | 小学生 | 小・中学生 or 小学生同士 | 小学生 | 中学生以下 |

※小・中学生の部のみ年令の低い者が年令の高い所への出場することを認める。

- ※シングルスとダブルスの 2 試合に出場できるが、シングルスのみ 2 試合出場することはできない  
※第 1 ステージのリーグ戦は原則 3 チームリーグとする  
※申込後、監督会議終了までの登録選手の変更は 2 名までとし、いずれも予選に出場していない者とする。  
また、監督会議後の変更は受け付けない。  
※両チーム整列時に、試合に出場する既定の 4 名以上のメンバーがその場に整列していなければならない。  
(メンバー不足の場合は団体戦として無効となる。)  
※前年度のランキングチームであっても予選リーグより出場となる。

- (9) 競技日程 (日程については参加申込数により変更されます)

監督会議 各種目、競技日程初日前日の 15 : 00～ (於：エディオンアリーナ大阪多目的ホール)  
競 技 7 月 15 日 (金) 50 代の部、60 代の部  
16 日 (土) 一般 2 部、50 代の部、60 代の部、小・中学生の部  
17 日 (日) 一般 1 部、2 部、小中学生の部  
18 日 (月) 一般 1 部、2 部 (参加数により 2 部を 3 日制にする)

(10) 競技ルール

- ①現行の日本卓球ルールによる。
- ②全試合 11 本 5 ゲームで行う。
- ③使用球は、J T T A公認プラスチック球；40 mmホワイトのみを使用する。
- ④ゼッケンは平成 28 年度（公財）日本卓球協会指定のものを持参して使用すること。
- ⑤同じユニホームによる対戦を避けるため、2 種類以上のユニホームを持参すること。
- ⑥ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして J T T A が公認した接着剤のみを使用すること。

(11) 参加資格

- 1)参加者は平成 28 年度、（公財）日本卓球協会登録者で構成するチームであり、選手は選手登録、監督、コーチは役員登録を出場チームにおいて登録をしていること。監督、コーチは必ず役員章を大会時、腕に付ける事。  
なお、都道府県予選の申込み締め切り日以降の新規選手登録は認められない。また、日学連、高体連に加盟している者は出場する事ができない。
  - 2)参加チームは、同じ都道府県、所属で登録している役員、選手からなるクラブ単位とし、都道府県代表として参加する事。ただし以下の条件を全て満たした者はそのチームより出場できるものとする。但し 1 チーム 1 名のみとする。（選手のみで監督コーチは除く）
    - ①隣接都道府県であり、同一クラブ名称で登録されていること。
    - ②当該（登録地および出場地）加盟団体長から承認されていること。※なお、登録加盟団体以外（隣接都道府県）のチームから参加する場合は、当該年度を含め 2 年間は当該チーム以外からは出場できない。（出場する場合は 1 年間あけること）  
(平成 30 年度より：隣接都道府県からの参加は認めない。  
・・・一部内容については平成 28 年度に再検討する。)
  - 3)出場選手は（予選会を含めて）同一年度に一人一種目までとする。
  - 4)卓球メーカーチームも参加できる。但し、ブランド名、商品名をチーム名に用いてはならない。クラブ名を使用すること。
  - 5)男・女各部について、同一クラブから複数のチームが出場することができる。
  - 6)予選出場選手と本大会の選手を、予選出場チーム間で入れ替えることはできない。また、予選会で敗れたチームの選手が本大会出場チームへ加わることはできない。なお、前年度ランキングチームの選手がチームを代えて予選に出場できるのは 2 名までとする。予選方法は加盟団体に一任する。
  - 7)前年度ランキングチームはそのランキング種目に無条件出場できる。但し、無条件参加資格を持つチームが、本大会の都道府県予選会に申込みをした場合は、申し込んだ時点で無条件参加資格を放棄したものと取り扱う。
  - 8)前年度ランキングチームが『前年度一般の部から 50 代の部』、『前年度 50 代の部から 60 代の部』に出場する場合、選手が 4 名以上同じであることを条件に推薦出場することができる。
  - 9)外国籍の選手（日本で出生して引き続き 3 年以上日本に在住している者、あるいは引き続き 10 年以上日本に在住している者は除く）は 1 試合 1 名 1 ポイントに限って参加資格が得られる。（シングルスとダブルスに重複して出場することは出来ない。）
  - 10)本会が認めた場合、特別チームを出場させることができる。
  - 11)本大会に出場した代表チームの選手は、第一三共ヘルスケアレディース 2016・第 39 回全国レディース卓球大会に団体戦・個人戦を問わず出場することはできない。（但し、予選会を除く。）
  - 12)一般の部 1, 2 部男・女は、第 66 回全日本実業団選手権大会（本大会）出場選手（参加登録者を含む）は出場できない。
  - 13)一般の部 2 部男・女
    - ①日本学生卓球連盟に所属していない大学同好会で、過去 3 年間、（'13～'15）下記の全国大会へ出場したことの無い人で構成されたチーム。
    - ②過去 3 年間（'13～'15）下記の全国大会に出場したことの無い人だけで構成されたチーム。（過去 3 年間に下記全国大会に出場した選手が 1 人でも含まれる場合には 1 部となる）
    - ③全日本実業団選手権大会（予選会を除く）に参加したことの無い企業チーム。  
※下記大会に出場したことがあっても 40 歳以上の者は一般の部 2 部に出場できる。
- 全国大会 a) 全日本卓球選手権（一般・ジュニアの部）、b) 全日本選手権（団体の部）、c) 国民体育大会、  
d) 全日本社会人卓球選手権、e) 全国高等学校卓球選手権（シングルス・ダブルス）、  
f) 全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）
- 14) 50 代の部男・女は、昭和 42 年 4 月 1 日以前に生まれた者で構成された単独チーム。（50 才以上）
  - 15) 60 代の部男・女は、昭和 32 年 4 月 1 日以前に生まれた者で構成された単独チーム。（60 才以上）

- 16) 小・中学生の部男・女は、各種の全国大会に出場した者でもよい。また、年令の低い者だけで構成してもよい。
- 17) 前年度一般2部優勝チームのみが一般1部に推薦出場するものとしその他の一般2部のランキングチームは一般1部もしくは一般2部いずれかを選択し推薦出場できる。
- 18) 参加資格に違反した場合は失格とする。なお、大会後に発覚した場合は成績（ランキング）を剥奪し、当該チームは翌年度の本大会に出場することはできない。
- 19) 2)、9)を適用するチームが出場する加盟団体は申込書にその旨を明記すること。  
(隣接は登録都道府県、外国籍選手は※と備考に記載)

(12) 参加数 一般1部、一般2部、50代の部、60代の部

| 区分 | 都道府県名                | 出場枠 |
|----|----------------------|-----|
| 1  | 大阪（開催県）、北海道、東京、愛知、福岡 | 4   |
| 2  | 埼玉、神奈川、静岡、京都         | 3   |
| 3  | 岡山、広島、長崎             | 2   |
| 4  | その他の府県               | 1   |

小・中学生の部

| 区分 | 都道府県名                 | 出場枠 |
|----|-----------------------|-----|
| 1  | 大阪（開催県）、北海道、千葉、神奈川、静岡 | 4   |
| 2  | 福島、茨城、愛知、兵庫           | 3   |
| 3  | 栃木、埼玉、新潟、岐阜           | 2   |
| 4  | その他の府県                | 1   |

区分1：開催県及び平成27年度日卓協該当選手登録人口上位4加盟団体

区分2：平成27年度日卓協該当選手登録人員5～8位加盟団体

区分3：平成27年度日卓協該当選手登録人員9～12位加盟団体

区分4：区分1・2・3に該当しない加盟団体

\*予選会の出場数による追加枠は平成26年度より廃止されました。

- (13) 参加料 団体戦 一般の部1,2部、50,60代の部 1チーム 30,000円  
小・中学生の部 //

- (14) 申込方法 別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団体長捺印の上、推薦チームを含め下記宛申し込むこと。

尚、参加料は現金書留郵便又は振込にて（公財）日本卓球協会宛送金のこと。

（振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人 日本卓球協会）

**（個人またはチームからの申込および参加料の送金はしないこと。必ず各都道府県がとりまとめて送金してください。）**

原本を 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内

（公財）日本卓球協会 宛

TEL (03) 3481-2371、FAX (03) 3481-2373

コピーを 〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中3-4-36

エディオンアリーナ大阪（大阪府立体育会館）内

大阪卓球協会 宛

TEL：(06) 6636-0801 FAX：(06) 6636-0802

- (15) 申込締切 平成28年5月30日（月）必着のこと。

締切日迄に申込無き場合は、不参加とみなす。もし、事情により遅れる場合は、必ず（公財）日本卓球協会事務局まで連絡のこと。

- (16) 宿泊申込 後日、旅行代理店より各都道府県の加盟団体へ連絡する。

- (17) その他 1)やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛書面にて連絡すること。

2)10年連続本大会出場チームで未表彰のチームに対し、本会が表彰するので該当チームは申込書にその旨記載すること。

- 3)男女一般1部より各1名最優秀選手を表彰する。
- 4)第50回全日本社会人選手権大会への推薦出場選手は、本大会の成績によりクラブ委員会が推薦する。
- 5)病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。
- 6)大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
- 7)個人情報の取り扱いに関して  
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認ください。

(18) 第35回全日本クラブ卓球選手権大会推薦出場チーム

第34回全日本クラブ卓球選手権大会ランキング

|   |  |
|---|--|
| 男子一般の部1部<br>1 T. O. M&卓球三昧 (A) (東京)<br>2 TTC浦和・土合B (埼玉)<br>3 リトルキングスA (神奈川)<br>4 MD相模 (神奈川)<br>5 フェニックス卓球クラブ (福井)<br>6 ウイニングクラブ (東京)<br>7 丸善クラブ (東京)<br>8 町田びいばる (東京) | 女子一般の部1部<br>1 MILFLUR (東京)<br>2 フェニックス卓球クラブ (福井)<br>3 LiLi (東京)<br>4 仙台卓球センタークラブ (宮城)<br>5 新大クラブ (新潟)<br>6 福卓会 (福島)<br>7 ROSE (東京)<br>8 九十九 (東京)                   |
| 男子一般の部2部<br>1 綾部紫遊クラブ (京都)<br>2 美しが丘クラブA (神奈川)<br>3 みつのきTTC (愛知)<br>4 GROUND ZERO (東京)<br>5 蝶友クラブ (埼玉)<br>6 竹の子 (大阪)<br>7 TKOクラブ (埼玉)<br>8 CLUB-e (山梨)                | 女子一般の部2部<br>1 MD相模 (神奈川)<br>2 チームDREAM (東京)<br>3 T&Tクラブ (東京)<br>4 卓精会 (東京)<br>5 亀田クラブ (新潟)<br>6 乱 (大阪)<br>7 代々木クラブ (東京)<br>8 ぺんぎん (神奈川)                            |
| 男子50代の部<br>1 東京KINGKONG (東京)<br>2 コルベテA (東京)<br>3 九十九 (東京)<br>4 日産追浜 (神奈川)<br>5 福卓会 (福島)<br>6 秋山卓球 (福岡)<br>7 高倉クラブ (神奈川)<br>8 卓楓会 (東京)                                | 女子50代の部<br>1 COLOR (神奈川)<br>2 みらくる (大阪)<br>3 甲子園クラブ (兵庫)<br>4 千代田クラブ (東京)<br>5 松草クラブ (神奈川)<br>6 豊中卓球クラブ (大阪)<br>7 Happy (大阪)<br>8 須坂卓翔会 (長野)                       |
| 男子60代の部<br>1 清友クラブ (大阪)<br>2 テニシヤス・ナカースA (神奈川)<br>3 グリーンクラブ (大阪)<br>4 サザンクロス (東京)<br>5 卓精会 (東京)<br>6 友卓会 (東京)<br>7 マイスター (埼玉)<br>8 チームTAISHO (埼玉)                     | 女子60代の部<br>1 千代田クラブ (東京)<br>2 武蔵野クラブ (東京)<br>3 神戸フレンズ (兵庫)<br>4 あすか (兵庫)<br>5 淑女クラブ (東京)<br>6 枚方フレンズ (大阪)<br>7 藤沢レディースみつぎ (神奈川)<br>8 こあら〜ず (大阪)                    |
| 男子小・中学生の部<br>1 フェニックス卓球クラブ (福井)<br>2 ミナミラボ (福井)<br>3 羽佳卓球倶楽部 (東京)<br>4 喜多方卓球ランド (福島)<br>5 マイダス (千葉)<br>6 ねや卓球クラブ (岡山)<br>7 卓研ジュニアクラブ (岐阜)<br>8 T. Cマルカワ (岡山)          | 女子小・中学生の部<br>1 フェニックス卓球クラブA (福井)<br>2 新発田ジュニアA (新潟)<br>3 フォレスタ (大阪)<br>4 玖珂SC Jr A (山口)<br>5 ミナミラボ (福井)<br>6 丸子橋卓球スタジオ (神奈川)<br>7 びんぽん団岸和田 (大阪)<br>8 新発田ジュニアB (新潟) |